

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	全ての入居者様の評価と介護計画の見直しを3ヶ月毎に行っていたが、状態が安定している方など介護計画が頻繁に見直しする必要のない方まで3ヶ月で行っている。個別で計画期間の調整、変化が見られた時の見直しなど柔軟なプランニングをしていく。	①個別での計画期間の調整をする。 ②認知症の進行、身体の変化が見られた際にプランの見直しを計画期間に関係なく行い状況にあったプランを提供したい。	①個別の計画期間の見直し ・入居1年未満の方、高齢などで状態が変わりやすい方は3ヶ月毎に評価、見直し。安定している方は6カ月として調整する。(現状のプランは調整の為に計画期間にばらつきがある。) ②状態の変化が見られた時の見直し方法の作成。	12ヶ月
2	35	コロナウィルス、最近の頻繁に起こる地震、温暖化による気候変動(水害、停電、猛暑など)毎年いろいろな事が起きる中、もしもの時の対応、準備をしておかなければいけない。	①早い情報収集と対応法の考察をする。 ②スタッフへの周知、特に新人職員やパート職員への指導をしていく。	①災害は起こるものとし、準備し情報も整理して今できる事を常に考える。 ②訓練などは慣れていないスタッフを中心に行う。	12ヶ月
3	13	夜勤専属の職員の増加に伴い経験の薄い状態での勤務など介護技術、対応力に不安がある。研修などの参加が難しい為、個別での指導を充実しないといけない。	①一般的な方法を指導するのではなく、起こりうる状況からの対応方法を指導する。 ②最低限知らなくては行けない介護技術を指導する。	①現状起きている状況からの指導をする。 ②必要な知識を絞って指導していく。又は資料の作成。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。